

分科会開催報告書

報告日 令和2年 12月 3日 (金)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 141回浮雲俳句会
開催日時 令和2年 11月 29日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女6名 合計17名 欠席者0名

実施内容

第141回例会は、兼題①姫路城②動物(初冬)。他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び大谷二祥会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	左見右見鷹の渡りを待つカメラ	とも女
地賞句	波止場にも河豚のモバイル下関	あきえ
人賞句	冬麗や白亜の天守姫路城	二祥
特選句	冬鷺の狙ひ一閃波の跡	和女
	気儘勝手されどこよと炬燵猫	祥代
	初曾孫の写真観るにもついマスク	一馬
	手習ひの三味線連夜返り花	春駒
	熊の出る一丁目一番地に来	勇平

会員高点句

7点句	端座して黙想解かず枯蠅螂	國眼
5点句	冬鷺の狙ひ一閃波の跡	和女
5点句	狐啼く奥丹沢を引き寄せて	一清

次回の予定

令和2年12月20日(日)午前9時30分～午前11時30分

「第142回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—

第142回例会は、兼題①名古屋城②植物(仲冬)。他に当季雑詠2句。合計4句。

披講 小幡とも女会員